

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成25年4月11日(2013.4.11)

【公表番号】特表2012-519906(P2012-519906A)

【公表日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【年通号数】公開・登録公報2012-034

【出願番号】特願2011-552997(P2011-552997)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/10 (2013.01)

【 F I 】

G 0 6 F 21/22 1 1 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月20日(2013.2.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピュータ装置による共有コンピュータリソースへのアクセスを制御するためのコンピュータにより実行される方法であって、

前記共有コンピュータリソースへのアクセスを可能にするリソースアクセス識別子を受信するステップであって、前記リソースアクセス識別子は前記共有コンピュータリソースに関連付けられることと、

前記リソースアクセス識別子を前記共有コンピュータリソースへのリンク内に埋め込むステップと、

情報要素内に前記リンクを挿入するステップと、

前記コンピュータ装置による前記共有コンピュータリソースへのアクセスを制御するアクセス制御スキームを前記情報要素に関連付けて、保護された情報要素を生成するステップと、

前記保護された情報要素を前記コンピュータ装置に送信し、前記コンピュータ装置が前記リソースアクセス識別子を使用して前記共有コンピュータリソースへのアクセスを可能にするステップと

を備えることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記情報要素は、電子メール、インスタントメッセージまたはファイルを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記リソースアクセス識別子は、暗号トークンであることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記リンクは、URL(uniform resource locator)であり、前記リソースアクセス識別子は、前記URLのパラメータとして前記URL内に埋め込まれており、前記リソースアクセス識別子は前記URLのパラメータとして埋め込まれていることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記リソースアクセス識別子は、前記リソースアクセス識別子に関する要求の送信者に

関連付けられている情報を含み、前記情報が、前記リソースアクセス識別子に関する要求を送信したコンピュータ装置に関連付けられている情報および前記リソースアクセス識別子に関する要求を送信したユーザに関連付けられている情報のうちの少なくとも１つを含むことを特徴とする請求項１に記載の方法。

【請求項６】

前記リソースアクセス識別子は、共有コンピュータリソースに関連付けられている権利に関する情報を含み、前記権利が、前記共有コンピュータリソースを読み込むための権利、前記共有コンピュータリソースに書き込むための権利、前記共有コンピュータリソースを変更するための権利、またはこれらの任意の組み合わせを含むことを特徴とする請求項１に記載の方法。

【請求項７】

前記リソースアクセス識別子は、前記リソースアクセス識別子の変更を防止するために署名を含むことを特徴とする請求項１に記載の方法。

【請求項８】

前記情報要素に関連付けられている前記アクセス制御スキームは、デジタル著作権管理（ＤＲＭ）プロファイルであって、前記デジタル著作権管理プロファイルは、前記共有コンピュータリソースの１または複数の所有者に関連する情報、前記共有コンピュータリソースの前記１または複数の所有者の１または複数の協力者に関連する情報、または、前記共有コンピュータリソースに関連付けられている１または複数のアクセス制限を含むことを特徴とする請求項１に記載の方法。

【請求項９】

前記情報要素に関連付けられている前記ＤＲＭプロファイルは、前記リンク内に埋め込まれていることを特徴とする請求項８に記載の方法。

【請求項１０】

前記共有コンピュータリソースは、アクセスゲートウェイを介してアクセス可能なファイルサーバから取得可能であることを特徴とする請求項１に記載の方法。

【請求項１１】

プロセッサとネットワークインタフェースとを備えるコンピュータ装置であって、前記プロセッサは、

共有リソースへのアクセスを可能にするリソースアクセス識別子に関する要求を送信し、

前記リソースアクセス識別子を受信し、

前記リソースアクセス識別子をリンク内に埋め込み、

前記リンクを情報要素内に挿入し、

第２のコンピュータ装置による前記共有リソースへのアクセスを制御するアクセス制御スキームを情報要素に関連付け、

前記ネットワークインタフェースを介して、前記情報要素と関連付けられている前記アクセス制御スキームが前記情報要素へのアクセスを可能にすることを確認可能な前記第２のコンピュータ装置に前記情報要素を送信し、前記第２のコンピュータ装置が前記リソースアクセス識別子を使用して前記共有リソースへアクセスすることを可能にする

ように構成されていることを特徴とするコンピュータ装置。

【請求項１２】

コンピュータ実行可能命令を備えるコンピュータ可読記憶装置であって、前記命令はアクセスゲートウェイのプロセッサにより実行されると、前記プロセッサに、

前記アクセスゲートウェイにおいて、前記アクセスゲートウェイを介した共有リソースへのアクセスを可能にする暗号トークンに関する要求を第１のコンピュータ装置から受信するステップと、

前記暗号トークンを前記アクセスゲートウェイから前記第１のコンピュータ装置に送信するステップと、

前記アクセスゲートウェイにおいて、前記暗号トークンを使用して前記共有リソースに

アクセスする試行を第２のコンピュータ装置から受信するステップと、  
前記第２のコンピュータ装置による前記アクセスゲートウェイを介した前記共有リソースへのアクセスを容易にするステップと  
を含む処理を実行させることを特徴とするコンピュータ可読記憶装置。

【請求項１３】

前記命令が前記プロセッサにより実行されると、前記プロセッサに、  
前記暗号トークンがタイムスタンプを含むことを判定するステップと、  
前記暗号トークンに関連している有効期間が経過したときに、前記暗号トークンを使用して前記共有リソースへのアクセスの試行を拒否するステップと  
をさらに含む処理を実行させることを特徴とする請求項１２に記載のコンピュータ可読記憶装置。

【請求項１４】

前記第１のコンピュータ装置または前記第２のコンピュータ装置は、デスクトップコンピュータ、ラップトップコンピュータ、パーソナルデジタルアシスタント、または携帯通信装置を含むことを特徴とする請求項１２に記載のコンピュータ可読記憶装置。